

伶楽舎雅楽コンサート no.44

REIGAKUSHA Gagaku Concert no.44

ことほ
新春を寿ぐ

Celebrating the New Year with Gagaku



おとことうか
男踏歌 芝 祐靖構成(2008年)

じゅかんしょう ばんすらく このとのは
(寿寒頌、萬春樂、此殿者、
こんじゅのじょ たけかわ わいえ
胡飲酒序、竹河、我家ほか)

さざ
萌す波のかたち

山本和智作曲(2025年) 委嘱初演

きしゅんらくのじょ は
舞楽 喜春樂序・破

伶
楽
遊

2026 1/22 (木) 午後7時開演(午後6時30分開場)

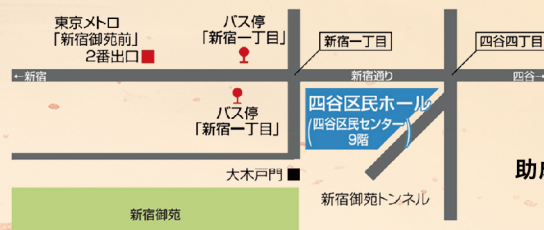
四谷区民ホール 四谷区民センター9階
東京メトロ丸の内線 新宿御苑前駅下車徒歩6分

チケット 前売3,500円 当日4,000円(全席自由席)

学生2,000円(前売・当日とも) チケット発売開始:10月22日(水)

*学生券予約は伶楽舎Eメール、FAXのみで受付。

- 伶楽舎(枚数、氏名、電話・ファクス番号を明記ください。後ほど確認のご連絡をいたします。)
Eメール ticket@reigakusha.com (1/20月 17:00まで)
FAX 03-5269-2011 (伶楽舎)*ファクスのみの取り扱い(1/20月 17:00まで)
- 東京コンサーツ オンラインチケットサービス
http://confetti-web.com/TOKYO-CONCERTS
電話予約(カンフェティチケットセンター) 050-3092-0051 (平日10:00~17:00オペレーター対応)
- e+(イープラス) http://eee.eplus.co.jp



助成:芸術文化振興基金

企画・主催:伶楽舎

今回は「新春を寿ぐ」と題し、新年を祝う曲を集めてみました。

「踏歌の節会」は宮中の新年の行事で、男踏歌では男達が歌を歌い、足を踏み、正月十四日の夕刻から未明にかけて歩き巡り、その年の豊穡を祈るものでした。源氏物語にも描かれており、今回、2008年に芝祐靖が復曲構成した次第を基に上演いたします。

二曲目は山本和智作曲「萌す波のかたち」(委嘱初演)です。作品に関して以下のコメントを頂いています。

"春は芽生えの季節。その「きざし」の、さらにきざしから始まる今作品は次第に上昇を続け、果ては双調に似た〈春の音楽〉を奏めます。それはさながら角ぐむ新芽のごとし。新しい春のための、言わば「生成する雅楽」として作曲しました(山本和智)。"

管絃13人編成の新作にどうぞご期待ください。

最後は舞楽「喜春楽序・破」です。調子は黄鐘調(夏の調子)ですが、春を喜ぶ楽、とのタイトルを冠したこの舞は、正月七日の「白馬の節会」でも演じられていました。伶楽舎では以前から、舞楽で「序」と「破」を続けて演じる機会を探っておりましたが、この度、ようやく実現いたします。舞は蜜絵装束の優雅な平舞、楽曲も端正で堂々とした名曲です。

平安時代の新春に思いを馳せてお楽しみ頂ければ幸いです。



*2008年12月「男踏歌」初演時のシーンより



芝 祐靖 しばすけやす

1935年生まれ。1985年伶楽舎を創立し、終身音楽監督を務めた。横笛の名手として活躍したほか、作曲、復曲の分野でも。現代雅楽、現代邦楽の作曲、雅楽廃絶曲の復曲、正倉院復元楽器を用いた敦煌琵琶譜などの復曲、皇室のためのオーケストラ曲の作曲など、多岐にわたる業績を残している。子どものための雅楽作品を創作、自ら全国の小中学校などでの演奏活動に参加した。2003年より日本藝術院会員、2009年旭日中綬章、2011年文化功労者、2017年文化勲章、他多数受賞。2019年7月永眠。



山本和智 やまもとかずとも

1975年山口県生まれ。和光大学人文学部文学科卒業。作曲は独学。2005年以降、欧米の作曲コンクールで1位受賞、入選を重ねる。世界的作曲家H.ラッヘンマンが審査員をつとめた2009年度武満徹作曲賞で第2位となり、一躍日本国内でも注目を集めた。作曲の他、「特殊音楽祭」(2009~2020年)をはじめとするプロデュース面でも高い評価を得ている。現在、和光大学表現学部総合文化学科非常勤講師。
<https://kazutomoyamamoto.b-sheet.jp/>



伶楽舎 (れいがくしゃ)

1985年に発足した雅楽演奏グループ。創立者・芝祐靖。現音楽監督・宮田まゆみ。発足以来、現行の雅楽古典曲だけでなく、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、これまでに湯浅譲二、一柳慧、池辺晋一郎、猿谷紀郎、伊左治直など様々な作曲家に新作を委嘱。武満徹「秋庭歌一具」の演奏で2002年中島健蔵音楽賞特別賞受賞。第16回(2016年度)佐治敬三賞、2020年第50回ENEOS音楽賞邦楽部門、2025年伝統文化ポーラ賞優秀賞を受賞。他に解説や体験を交えた親しみやすいコンサート、学校での公演なども多く行い、雅楽への理解と普及に努めている。

伊崎善之、石川高、岩倉裕子、柏木理、北村茉莉子、國本淑恵、小林勝幸、五月女愛、笹本武志、野瀬元、鈴木絵理、田口和美、田中康真、谷内信一、田淵勝彦、角田眞美、東野珠実、中村かほる、中村華子、中村仁美、野田美香、平井裕子、福西賢、三浦礼美、宮田まゆみ、宮丸直子、村岡健一郎、八百谷啓人、八木千曉、荒川明英、武智和子

お問合せ ・伶楽舎 info@reigakusha.com

・東京コンサーツ Tel:03-3200-9755 (平日10:00~18:00 土日定休)

一般社団法人 伶楽舎

〒160-0012 新宿区南元町19-2千日谷会堂内

tel&fax: 03-5269-2011

<http://www.reigakusha.com>

<https://www.facebook.com/reigakusha>

<https://www.instagram.com/reigakusha/>



reigakusha



facebook



instagram

今後の伶楽舎主催公演

2026年5月14日(木)

伶楽舎雅楽コンサートno.45
大和田さくらホール

2027年1月30日(土)

伶楽舎第十八回雅楽演奏会
(藤倉大委嘱新作他、紀尾井ホール)